

二十歳の抱負

式典会場で出席者の皆さんに二十歳の抱負を聞きました。ご協力いただいた皆さんありがとうございました♪
自分自身の未来を切り拓き、目指す夢に向かって頑張ってください!



過ごした20年の思い出

新二十歳の皆さんは、4地区が合併し現在の「常陸太田市」になった2004年に生まれ、市とともに20年を歩んできました。そんな各地区を代表して4人に、常陸太田での思い出や30年後の自分へのメッセージを伺いました。

この20年間で常陸太田で過ごしてきて、町並みもだいぶ発展してきました。特に変わったなと間違いなく言えるのは、(国道349号線の)バイパス沿いじゃないかなと思います。

小さいときはよく「まいづる公園」などで友達と遊びました。太田で20年過ごして、楽しかったですね。これからもずっと太田にいます。30年後の自分は、幸せな家庭を築いてほしいなと思います。



常陸太田地区
宇野 瑛雄さん

子どもの頃の思い出は、まず太田まつりです。毎年遊びに行っていました！浴衣とかも着て行きましたね。あと、金砂郷は常陸秋そばが特産なので、小学校のときに、職場見学みたいなものでおそば屋さんに体験に行ったりとかもしました。

未来の私へ。30年後も真面目に働いてください、それと素敵な旦那さんを見つけてください。



金砂郷地区
小幡 ゆらさん

地元・水府での思い出で一番記憶に残っているのは、小学生のときに毎年、地元名物の常陸秋そばを作る行事があったことです。それと、水府中学校の通学路の坂。

私はバス通学だったんですけど、中学校最寄りのバス停からその坂を上るのが大変でした(笑)

いま教職を目指していて、10年後の自分はきっと小学校の先生になっていると思うので、30年後も続けて幸せな先生生活を送ることができていればいいなと思います。



水府地区
井坂 夏音さん

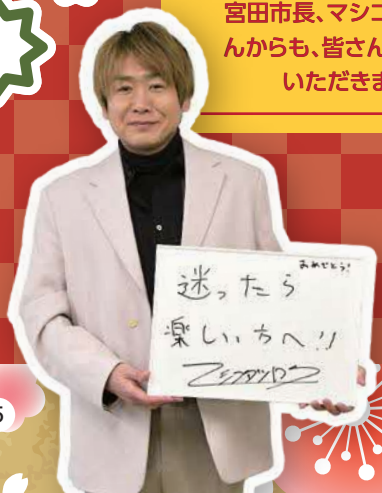
里美で過ごした中で感謝しているのは、今でもずっと付き合えるような、最高の仲間たちと出会えたことです。みんなで自分の家に集まってゲームして遊んだり、昨日のこのように思い出せます。

20歳になってやりたいことは、お酒をたくさん飲んでみたいです！30年後、50歳の自分へ。きっと僕のことだから、生涯収支は少しマイナスぐらいには収まっていると思いますが、ほどほどにして楽しく過ごしましょう。



里美地区
今 温貴さん

宮田市長、マシコタツロウさんからも、皆さんにエールをいただきました！



皆さんの誕生20年、市の合併20年、ともに記念の節目を迎えることができました。常陸太田市の輝く未来を、皆さんの手で築いていただくことを願っています。





令和7年 二十歳のつどい
実行委員会の皆さん



羽ばたけ!二十歳のつどい 記念バンジー

大人への
旅立ち!

常陸太田の二十歳のつどいといえばバンジージャンプ!
新二十歳の代表者が夢や抱負とともに高さ100メートルの竜神大吊橋から
バンジージャンプを飛び、大人としての一步を踏み出すイベントです。
今回は昨年末の12月28日に開催し、勇気ある9人がチャレンジしました。

令和7年
二十歳のつどい

記念 バンジー 挑戦者



小檜山 人喜さん
(世矢中出身)



高森 隆太さん
(太田中出身)



舟橋 佑太さん
(峰山中出身)



宇野 瑛雄さん
(太田中出身)



三浦 拓海さん
(瑞竜中出身)



今 温貴さん
(里美中出身)



棚部 太裕さん
(世矢中出身)



小澤 悠人さん
(太田中出身)



谷平 実優さん
(瑞竜中出身)



おめでとうございます



県不法投棄防止功労者

県庁で開催された県ボランティアU・D.（不法投棄監視員研修会）において、令和2年から同監視員を務め、日頃のパトロール活動とおして廃棄物の不法投棄未然防止、早期解決等に多大な貢献のあった吉村勉さん（大中町）に県不法投棄防止功労者として茨城県知事から感謝状が贈呈されました。



県集団回収優良団体表彰

県は、資源ごみの集団回収について積極的な取り組みを行っている団体に対して、毎年度「茨城県集団回収優良団体表彰」を行っています。今年度は、集団回収の歴史が長く、地域のごみ再資源化の取り組みとして定着している茅根町会が茨城県民生活環境部長賞を受賞しました。



増子 光昭さん（茅根町町会長）、江幡 次男さん（副町会長）

水戸保護観察所長から感謝状

「社会を明るくする運動」へ協力した団体として、特にその功績が顕著であることから、「カスミ常陸太田店」に水戸保護観察所長から感謝状が贈呈されました。同店には、平成30年のオープン以来、毎年、市推進委員として社会を明るくする運動の街頭キャンペーンに協力いただいています。





おめでとうございます



法務大臣表彰

長年、保護司として罪を犯した人々の改善更生と犯罪の予防に尽力した功績を認められ、久慈地区保護司会会長の森一史さん（町屋町）が法務大臣から表彰されました。12月13日、市長のもとを訪れ、受賞の喜びを報告しました。



TOPICS



地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰

12月16日、本市の地域公共交通の取り組みが評価され、「令和6年地域公共交通優良団体」として国土交通大臣から表彰されました。これは、平成16年の市町村合併後に各地域で運行していた多くの公共交通（路線バス、スクールバス、コミュニティバス、医療機関への患者輸送バス）が、そのままの形態で運行を継続したことによる運行ルートの重複や地域間におけるサービス水準（運行日、便数、運賃など）の相違を解決するために、平成28年10月に実施したスクールバス、コミュニティバス、患者輸送バスを路線バスへ集約させる取り組みが、運行の効率化（重複ルート、運賃の差異の解消など）と公的負担の抑制を実現した他自治体の模範となる顕著な功績のある取り組みとして、評価されたものです。





門松で新春を祝う

12月23日、市役所と道の駅ひたちおおたに高齢者生産活動センターさとみの皆さんから、門松が寄贈されました。新春を祝う日本の伝統的な装飾である竹や松、梅、南天などを使った立派な門松が、市役所の来庁者や道の駅の来場者を出迎えました。



新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会

1月5日、新年賀詞交歓会並びに叙勲祝賀会をパルティホールで開催しました。昨年、叙勲・褒章を受章された方に対し記念品を贈呈し、受章者代表として菊池伸也さんからあいさつをいただきました。また、昨年イベント等出演により市のPRに貢献いただいた「GO! 郷! 会」と「市内チアリーディング」チームの皆さんにもご参加いただきました。その後、鏡開きで新年を祝い、出席者は和やかに懇談し、親睦を深めました。





消防出初め式

1月13日、パルティホールで消防出初め式を開催し、多数の消防関係者が参加しました。式典では、消防関係者による分列行進をはじめ、消防署職員による救助訓練、消防団員による消防ポンプ操作の披露のほか、消防功労者への表彰を実施しました。新年にあたり、消防関係者の士気を高めることができました。



道の駅ひたちおおたでいちご狩り体験

1月8日・29日、道の駅ひたちおおたでらいっく保育園と幸久幼稚園の園児たちが、いちご狩りを体験しました。子どもたちは、おいしそうないちごを選んでいねいに摘み取り、収穫後、とれたての味を楽しみました。本市の特産品の一つであるいちごを改めて認識してもらうとともに、農業を身近に感じ、道の駅への親しみや楽しみを感じてもらった良い機会となりました。



県森林・林業協会様、
県木材協同組合連合会様より

木育・知育のため
絵本『モクモクはどこからきた?』10冊



温かいご支援
ありがとうございます

